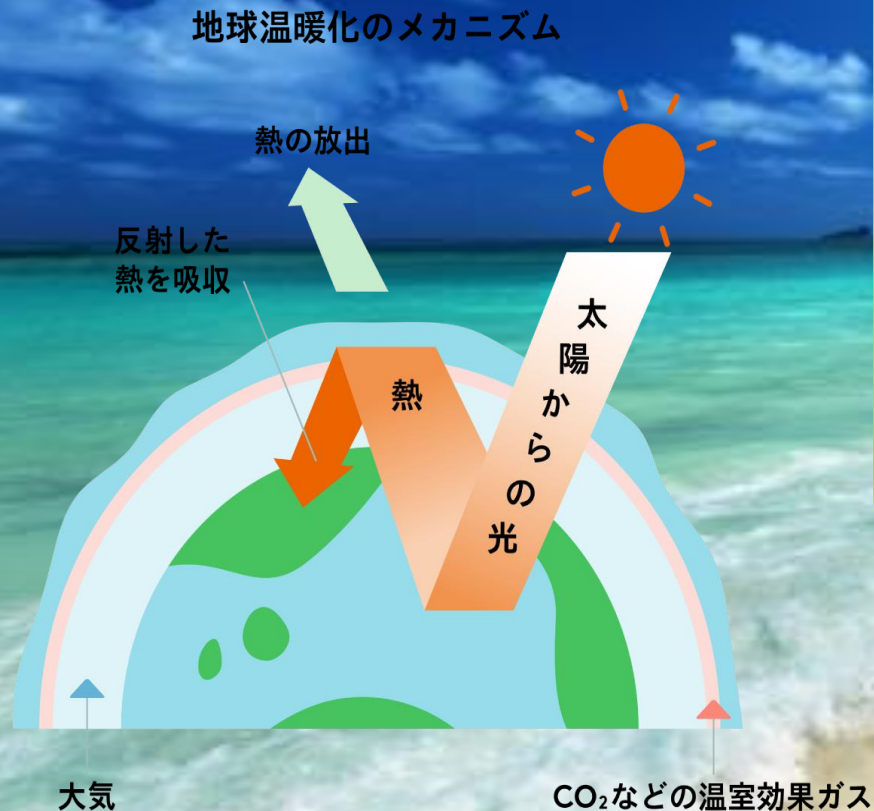




LET'S MAKE CLEAN ENERGY TOGETHER!

2年2組 32番

1…動機



私が4つのSDGsの中から選んだテーマは、
「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」です。

これは『地球上のエネルギーに対して起こっている問題を解決すること』を目標としています。

私が知っている地球上の問題は『地球温暖化』です。
地球温暖化とは、地球上から排出される二酸化炭素が原因で、地球の気候系の平均気温が長期的に上昇することです。これは気候変動の主要な側面であり、気温の直接測定や、温暖化の様々な影響の測定によって実証されています。地球温暖化がもたらす影響は、海面上昇、降水量の地域的な変化、熱波などの異常気象の頻発、砂漠の拡大などが挙げられています。北極圏では地表温度の上昇が最も大きく、これが氷河、永久凍土、海氷の後退に寄与されています。

私は、この地球温暖化を含めた環境問題について、クリーンエネルギーを通して、今私たちができることを実践して行こうと考えたことが動機です。

2…クリーンエネルギーとは？

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



「SDGs 7.エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」

「世界中のすべての人々が、手ごろな値段で安定してエネルギーを使えるようにしよう！そして、そのエネルギーは環境にも人にも優しい信頼できるものにしよう」という意味が含まれています。

電気やガスなどといったエネルギーは、生活する上で欠かせないものですよね。
しかし、世界では現在でもおよそ**8億4,000万人**の人々が電気を使えていません。

そして、電気やガスが使えない人々は、代わりに薪や炭を燃やして生活しています。
動物の排泄物を使用している場合もあります。

薪や炭などを燃やすと煙で空気が汚れ、体に悪影響を及ぼす可能性があり、「SDGs 7.エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」ではその危険性も解消したいと考えられているのです。

3...5つのターゲット

現在でもおよそ30億人の人々が、信頼できるクリーンなエネルギーを利用できていません。

そこで、持続可能な開発目標SDGsは、目標ごとに細かくターゲットが設定されています。

目標の内容をより詳しく解説しているのがターゲットです。

「SDGs 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」には、次のような5つのターゲットが設定されています。

ターゲット	
①	2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
②	2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
③	2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
④	2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。
⑤	2030年までに、各々の支援プログラムに沿って開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、内陸開発途上国のすべての人々に現代的で持続可能なエネルギーサービスを供給できるよう、インフラ拡大と技術向上を行う。

「SDGs 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」のターゲットの中でも、

「安価かつ信頼できる現代的エネルギー」
「再生可能エネルギー」

がポイントになります。このポイントとなるエネルギーこそが、クリーンなエネルギーといわれるものだと思います。

クリーンなエネルギーが世界中のすべての人々の元にいきわたるためには、

再生可能エネルギーの割合・効率を上げる
ことが重要だと考えられています。

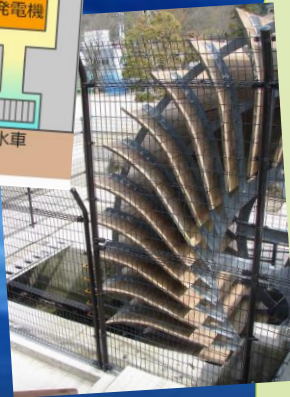
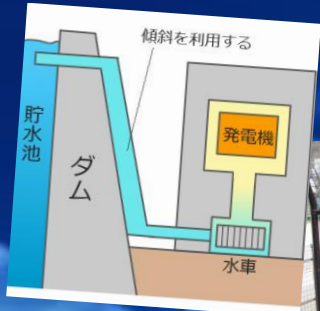
同時に、**インフラ設備の拡大と技術を進展**
させることも必要不可欠だとされています。



では…

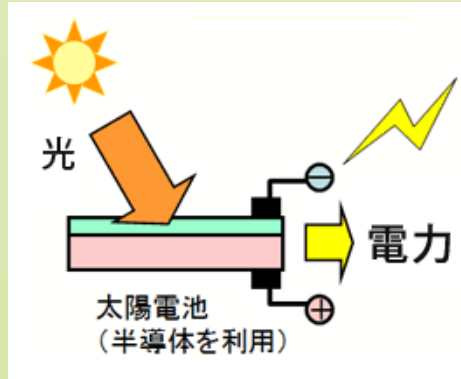
「クリーンエネルギー」と「クリーンではないエネルギー」は何が違うのか???

4…クリーンエネルギーの例



SDGsの目標7を説明する際に言われる「クリーンなエネルギー」とは、ターゲットの中にもあった「再生可能エネルギー」のことです。例えば…以下のようなエネルギーが挙げられます。

- ・水力発電
- ・風力発電
- ・バイオマス発電
- ・太陽光発電
- ・地熱発電



再生可能エネルギーは人間が使っても**資源を再生できる**ので、資源がなくなる心配がありません。

また、**二酸化炭素を排出しない**ので環境に優しいです。

こういった理由を聞くと「クリーンなエネルギー」といわれるのは納得できます！まさに「クリーン！！」

5…クリーンではないエネルギーが及ぼす影響

クリーンなエネルギーとは反対の「クリーンではないエネルギー」は「化石エネルギー」といわれるものです。化石エネルギーは、以下のようなエネルギーが中心になっています。

- ・石油
- ・石炭
- ・天然ガス



化石エネルギーは、資源に限りがあります。

今のままのスピードで化石エネルギーを使い続けると、100年後には資源をほとんど消費しきってしまうという推測があるようです。

また、化石エネルギーは、作る際に二酸化炭素が排出されてしまうという問題もあります。

二酸化炭素の排出は、暖化地球温や気候変動を引き起こすため、化石エネルギーの消費量が減らないどころか増えていっては、地球環境に対するリスクが高まるばかりです。

地球環境が悪化していくと、わたしたちの生活にも影響が出てくると思います。

「クリーンではないエネルギー」には、さまざまな危険性が含まれています。

危険性を知ると「SDGs 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の重要性がよくわかります。

6…実現のためにわたしたちにできること

①再生可能エネルギーについて理解を深める

まずは、再生可能エネルギーについて理解を深めましょう。

日本の再生可能エネルギーの導入率や世界各国のエネルギー事情を調べ、エネルギーに関する知識を高めてみてください。

経済産業省・資源エネルギー省の「日本のエネルギー2018」や「世界のエネルギー情勢」など、エネルギー事情に関する資料はネット上でも数多く存在します。

各地方の電力会社のサイトでも解説されていますよ。

エネルギーについて理解を深めることで、自分自身のエネルギーの使い方に対する意識も変わるはずです。

②エネルギーの使い方を工夫する

日常的なエネルギーの使い方を工夫することも、「SDGs 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を実現するために有効です。

- ・電気はこまめに消す
- ・冷蔵庫は開けたらすぐ閉める
- ・エアコンの設定温度を上げ過ぎない（下げ過ぎない）
- ・コンセントは使わないときは抜いておく
- ・テレビの明るさを調整する など。。

家族みんなでエネルギーの使い方を工夫すると、よりクリーンエネルギーの実現に近付くことができると思います！

7 . . . 私が考えたクリーン遊び



ラジオ体操

高齢者まで遊べる『伝承遊び』!

トランプなどの
"カードゲーム"

8...感想



私は今回「SDGs 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を調べてみて、日常生活でも取り組める事が沢山ある事に気づきました。その中でも、まずは「電気をこまめに消す」事を徹底していきたいと思いました。部屋の電気や扇風機、洗面台や携帯の充電器の電源も「少しだから…」とつい付けっぱなしにしがちだったので、その自分の行動1つ1つが環境問題に繋がっていくんだという認識を持って日常生活を過ごしていきたいと思います。

しかし、私1人だけではわずかな効果にしかならないと思うので、家族や友達など周りの人に呼び掛けて、多くの方がエネルギーに意識を傾ければそれだけ多くの再生可能エネルギーが生まれ、「クリーンエネルギー」に繋がっていけると 생각합니다！1日でも早い「SDGs 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の達成ができるように日々行動して行こうと思います。

最後に・・・

エネルギーについての課題を解決するには、クリーンなエネルギーの大切さを世界中の人々に訴求する必要があります。

1人1人が「環境問題」や「クリーンエネルギー」に関心を持ち、**行動に移す事**が大切です。

皆さんも、まずは私たちが暮らしの中で無駄な電力を使っていないか、また物を製造するためにもエネルギーが必要なため、食品・物を無駄にしていないかなど、身近なところから確認してみてください。

